



国際交流のひろば

令和2年度留学生交通安全教室

6月3日(水)12時から、オンラインによる交通安全教室を実施しました。押木留学生支援専門部会長から、実際に起こった事故や安全で充実した留学生活を送ることなどのお話をいただき、自転車の交通ルールや道路での乗り方などの映像を視聴しながら学びました。

10月は上越警察署員をお招きし、秋の交通安全教室を実施する予定です。

令和2年度 春の交通安全教室

- 挨拶
- 映像視聴
- 補足説明
 - 学研災付帯学生生活総合保険への加入
 - 自転車の登録・施設・保管
 - 留学生用自転車の貸し出し



外国につながる子どもたちへの修学支援事業

令和2年度「外国につながる子どもたちへの修学支援事業」が6月1日(月)から始まりました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に学習支援をするもので、留学生及び日本人学生が支援者として参加します。

今年度は、オンラインによる学習支援として開始し、教科内容の理解とともに、家庭言語や第一言語の保持と伸長を目指します。

よろしくお願ひします!

4月に入学した留学生は中国4名、コスタリカ、ガーナ、南スーダン1名ずつの7名です。

これにより、本学で学ぶ留学生数は博士課程を含めると34名となりました。

マリアさんに自己紹介をお願いしました。



教員研修留学生 ソト・テンチジャ・マリア・ホセ (コスタリカ)

みなさん、こんにちは。私は去年の9月にコスタリカから来ました。コスタリカでは高校で英語の教師です。今年の4月から上越教育大学で英語教育について勉強しています。日本語の勉強もしています。まだ初心者ですが少しずつ言葉を覚えています。

私にとって、日本に来ることは良い機会です。文化はいつもおもしろいです。例えば、神社やお寺に行って御朱印をあつめたり、写真をとったりすることが好きですし、伝統的な休日もおもしろいと思います。たくさんの新しい友達もできました。今は難しいと思いますが、北海道、静岡、沖縄や大阪に行ってみたいし、夏祭りや日本料理を作りたいです。

皆さんは私の日本語を上達するのを手伝ってくれるので、私は人々の英語力が上達することを手伝いたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3666 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば



各種奨学金に関する説明会

7月1日(水)12時15分から、オンラインにて、私費外国人留学生を対象とした各種奨学金説明会を実施しました。学業・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする留学生に対し、修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「JEEES日本語教育普及奨学金」等の来年度に向けた募集や詳細について近藤留学生支援専門部会委員から説明しました。

留学説明会

7月30日(木)12時10分から人104において、日本人学生を対象に、本学と協定を締結している海外の大学についての情報提供を目的とした留学説明会を開催しました。

周東協定校交流推進専門部会長から協定校の紹介があり、「海外留学支援制度(協定派遣)」「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」などの奨学金制度について、国際交流・地域連携チームから説明しました。



修了生からの手紙

平成31年3月に修了し、マラウイでご活躍されているアルフレッドさんからお手紙が届きました。

平成30年度教員研修留学生 インテンペヌゼニ・アルフレッド(マラウイ)

こんにちは。お元気ですか？私は元気です。私が日本を去ってから今日で515日目です。家族なしで1年半暮らした後、マラウイに帰ることにとっても興奮しました。同時に、友達や大切な思い出をたくさん残して、日本を離れることが辛かったです。美味しい食べ物、美しい風景、フレンドリーな人々、そして日本の素晴らしい文化は私が最も恋しいものです。

現在、マラウイは冬です。寒いですが、日本の冬ほど寒くないです。covid-19のためにマラウイに戻って以来、人生は異なっていて辛かったです。covid-19で約100人が亡くなりました。学校は今年の4月以来閉鎖されたままです。多くの企業が廃業し、経済に影響が出ています。私たちは困難な時代にありますが、物事がすぐに変わることを期待しています。人々は、マスクの着用、石鹸で手を洗う、ウイルスの蔓延を制御するために社会的距離を観察するなどの予防策を講じようとしています。

今年、私たちの国で大統領選挙があり、そこで新しい大統領が選出されました。彼の名前はラザロチャクウェラ博士で、彼は私の国に変化をもたらすことを約束しました。

日本から帰国したときの夢は、修士号を取得して大学の教授になることでしたが、大学が閉鎖されたため、私はそれらの計画を保留しなければならませんでした。もう4か月間仕事を休んでいたため、忙しくするために養鶏を始めました。現在、300頭のブロイラーチキンがあり、完全に成長したら販売する予定です。そのお金を使って、covid-19の予防のためにマスクと石鹸で貧しい人々を助けるつもりです。皆さん、ありがとうございます。お元気です！



野生のキリンを見ながら

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

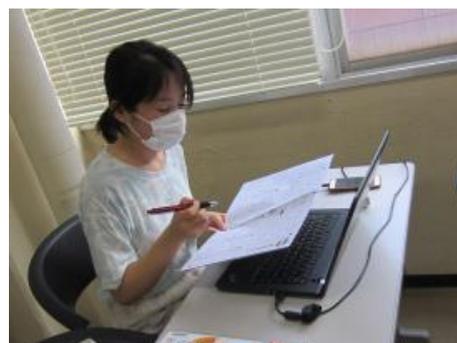
国際交流のひろば



夏休みの宿題教室

8月3日(月)～5日(水)夏休みの宿題教室を実施しました。これは、令和2年度外国につながる子どもたちへの修学支援事業によるもので、上越地域在住の外国につながる子どもたちを対象に学習支援を行うものです。

外国人留学生及び日本人学生20名が支援者として参加し、児童生徒15名が夏休みの宿題の中で一人では取り組むことが難しい部分を中心にサポートしました。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システムを利用したオンラインでの支援を行いました。



令和2年度短期外国人留学生修了証書授与式



9月2日(水) 15時30分から大会議室において執り行いました。

昨年10月から特別聴講学生として留学した中国協定校(哈爾濱師範大学)からの2名、台湾協定校(国立清華大学)からの2名、日本語・日本文化研修留学生2名(トルコ、ブラジル)に、学長から修了証書が授与されました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で、それぞれ9月に帰国されました。

日本語・日本文化研修留学生 カネカ・ペレイラ・デ・アラウジョ・ヴィトリア(ブラジル)
 去年の10月、日本語と日本文化を勉強するために上越に来ました。そして、私の上越教育大学での留学生活が始まりました。

日本へ来る前、ブラジルで日本語と日本文化を勉強しました。ですから、上越教育大学でブラジルで学んだことを使えたことは本当に良かったです。この1年間は様々な問題がありましたが、いい経験になったと思います。また上越教育大学の授業で沢山学びました。そしていい友達も作りました。最初の気持ちは、日本に興味がありましたから日本に来ましたが、日本人、中国人、台湾人、トルコ人など、様々な人達と出会って、皆と交流ができました。日本語で授業を受けることは大変でしたが、大学の先生たちはいつも親切だから授業はいつも面白かったです。私の一番大切な思い出は、上越教育大学で作った友達たちです。出来れば将来、日本に戻りたいです。

1年間ありがとうございました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
 Tel: 025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

留学生の日本の文化・歴史体験に関する研修

10月23日(金)午後、柏崎市において研修を行い、木村茶道美術館・赤坂山公園、フィッシャーマンズケープ、笠島海岸・弁天島を見学しました。この研修は留学生に日本文化・歴史体験や交流の機会を提供することを目的に毎年行っています。参加した留学生からは「木村茶道美術館は、静かな山の奥にあり、茶道で使う道具も鑑賞できて勉強になった」「笠島海岸、弁天島では、岩礁に上れて良かった。海の水が澄んでいて景色が良かった」などと感想がありました。



木村茶道美術館・赤坂山公園



笠島海岸・弁天島

留学生交通安全教室

11月25日(水)15時から音201教室において、交通安全教室を実施し、留学生と教職員27名が出席しました。近藤留学生支援専門部会委員の進行で、上越警察署警備課の方々から防犯や自転車を中心とした交通安全指導についてのお話をいただき、留学生は酔った時の視界を体験できるゴーグルをかけて動作したり、反射神経を測定するなどの体験をしました。

最後に留学生代表として紀煥明さん(中国)は「母国と日本の交通ルールが違うところがたくさんあります。留学生が交通事故の被害者にも加害者にもならないように事故防止を図り、日本で安全に暮らすため、留学生にとっても大切なことです。今日、警察の方はたくさんのことを説明してくださって、ありがとうございました。とてもよく理解できました。」とお礼の言葉を述べました。



交通ルールのお話し



反射神経を測定する体験

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)



国際交流のひろば



令和2年度留学生が語る／留学生と語る会

12月9日(水)13時30分から第2講義棟103教室において、留学生が語る／留学生と語る会を開催し、市民、学生、教職員など27名が参加しました。

吉田留学生支援専門部会委員の進行のもと、『田舎暮らしについて語ろう』をテーマに、会の前半では米農家と農家民宿うしだ屋を経営されている牛田様ご夫妻から講話いただき、後半では留学生や参加者の皆さんと一緒に意見交換を行いました。

参加者からは「講演を聞いた後の留学生の正直な感想が聞けてとても良かった。今失われつつある自然や食の大切さを改めて実感した。特に新型コロナウイルス感染症で世界中が生き残る上でも今後考えるべきことだと思った」「このような風景がなくなったら惜しいと改めて考えた。田舎の生活も選択肢の一つであることも考えた」「自分の今後の人生について考えた。それぞれの人生には、それぞれの意義があると思った」などの感想が寄せられました。

当日は、教室の窓とドアを開放して換気を行い、入室前の体温検査測定、アルコール消毒などの感染症対策をとり実施しました。



外国につながる子どもたちへの修学支援事業 「冬休みの宿題教室」



12月23日(水)～26日(土)「冬休みの宿題教室」を実施しました。これは上越地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に冬休みの宿題の学習支援を行うもので、留学生及び日本人学生19名が支援者として参加し、支援を受けた児童生徒は18名でした。支援者は冬休みの宿題の中で、一人では取り組むことが難しい部分を中心に学習支援を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Web会議システムを利用したオンラインでの開催となりましたが、児童生徒は集中して学習を進めていました。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)

国際交流のひろば

よろしくお願ひします!

10月に入学した留学生は、中国3名、トルコ1名の4名です。これにより本学で学ぶ留学生数は博士課程を含めると32名となりました。エテシさんに自己紹介をお願いしました。



日本語・日本文化研修留学生 エテシ・エリフ（トルコ）

みなさん、はじめまして！出身はトルコで、イスタンブールの隣にあるテキルダールに生まれました。トルコではチャナッカレ・オン・セキズマルト大学日本語教育学科の4年生です。上越教育大学に特別聴講学生として、昨年の10月から、1年間の日本語・日本文化研修留学のために参りました。日本に来るのは初めてです。日本語の勉強はトルコの大学に入った時に始めて、もう4年間になります。この留学によって、日本語会話能力をもっと向上し、日本文化と習慣を体験して、日本社会や日本人の考え方を理解したいと思っています。トルコではあまり雪を見たことがない私にとって、上越で一番びっくりしたことは重い雪が降ることでした。これからの留学生活でいろいろなことを経験して友達を作ることを楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。



外国の年越しについて、留学生に聞きました

ガーナ（アレクサンダーさん）

- ・クリスマスと新年は教会に行きます。
- ・家族が故郷に集まり、鶏肉、山羊、羊、牛肉などの肉料理やスイーツなどの料理を沢山作って、家やビーチに行きパーティをします。「Afehia pa! (アフィアパ)」は新年の挨拶です。

台湾（陳沛羽さん）

- ・大晦日は台北101でカントウの花火があります。
- ・春節（旧暦の正月）は必ず魚、肉、えびを使って沢山の料理を作り、家族が集まります。町のあちこちから爆竹の音が聞こえます。赤い袋に入ったお年玉をもらいます。

中国内モンゴル（白雲さん）

- ・春節（旧暦の正月）の大晦日は家族で餃子を作って食べ、お正月は必ず祖父母など目上の人の家に挨拶に行きます。
- ・内モンゴルでは、お年玉やお酒と一緒に、哈達（ハダ）というきれいな長い布を渡します。

コスタリカ（マリアさん）

- ・クリスマスからお祝いが始まり、大晦日と新年はタマレスを食べたり、エッグノッグを飲んで、家族や友達とパーティをします。
- ・新しい年も良い旅行ができることを願ひ、スーツケースを持って町の中を走ります。

中国（劉玥さん）

- ・大晦日の晩御飯は魚料理を作って飾ります。魚の発音は余と同じで、余＝豊かであるようにと願ひを込めます。
- ・元旦の朝は饅頭を蒸かします。蒸気が上がるのは縁起が良いということからです。

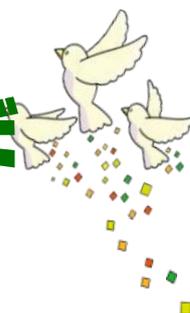
トルコ（エテシさん）

- ・大晦日は沢山の料理を作って、沢山のひとたちと楽しい時間を過ごします。家族とボードゲームをしたり、友達とパーティをする人もいます。
- ・イスタンブールでは大晦日に年越しの花火が上がります。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）

国際交流のひろば



令和2年度修了留学成果発表会

3月5日(金)15時から人文棟113教室において、修了留学成果発表会を開催しました。

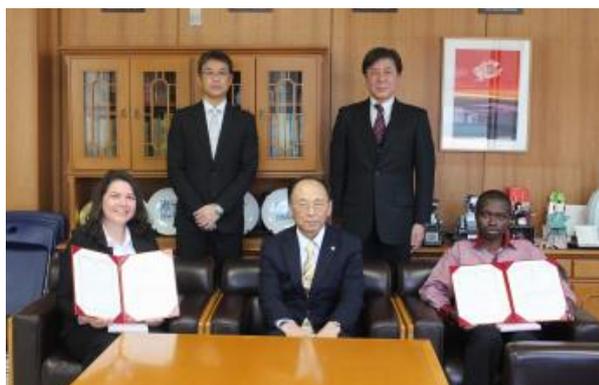
発表者は3月修了するオプスオ・アレクサンダー・アドゥさん(ガーナ・教員研修留学生)、ソト・チンチラ・マリア・ホセさん(コスタリカ・教員研修留学生)、張丹丹さん(中国・大学院2年)の3名です。

それぞれ、本学での研究成果について、留学生活の感想と思い出、修士論文を書くことについて後輩へのアドバイスなどを発表しました。



令和2年度教員研修留学生修了証書授与式

3月15日(月)15時から学長室において、教員研修留学生2名に修了証書が授与されました。オプスオ・アレクサンダー・アドゥさんから留学生活の感想文を寄せてもらいました。



教員研修留学生

オプスオ・アレクサンダー・アドゥ (ガーナ)
みなさん、こんにちは。私は西アフリカのガーナから来ました。今日は私にとって素晴らしい日です。上越教育大学で勉強ができて、今日修了できたことを誇りに思います。学長先生、指導教員の下里先生、そして多くの先生方やスタッフのみなさんに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。みなさん、お元気で！

令和2年度大学院修了留学生への記念品贈呈式

3月15日(月)15時15分から学長室において、3月に大学院を修了する留学生10名に対し、学長から記念品が贈呈されました。

修了生代表として、陸春安さん(中国)が、「本来は、アルバイトで時間を削りながらの厳しい学生生活であるところ、学費免除制度による時間的、金銭的な支えはとても大きく、勉強に没頭することができました。ご支援に感謝して、ご期待を無駄にすることのないよう誇りをもって、これからも努力してまいります。」とお礼の言葉を述べました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel:025-521-3665 (研究連携課 国際交流・地域連携チーム)